

事務事業名		林道舗装事業		所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
総合計画体系的	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>		所属G	農林道G	課長名	渡部克彦
	施策名	(37)林業の振興		担当者名	山根 知穂	電話番号	0854-40-1053
	目的:対象	市内の森林	意図	適正に森林を整備、保全し、森林資源を活用する。		(内線)	2403
	基本事業名	(112)適正な森林管理		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	林道整備事業	
目的:対象	市内の森林	意図	適正に管理する。		項目 中事業 中事業名	林道舗装事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間

単年度のみ     単年度繰返 ( 年度 ~ )

期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )

② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)

三刀屋町上熊谷外地内にある林道高瀬線の未舗装部分の舗装工事である。急勾配で上りづらい箇所や路面の土砂が流れて轍ができていて箇所があるため、通行しやすいように舗装を行う。

また、高瀬線がある高瀬山は頂上に消防救急デジタル無線があり、消防署と中国電気保安協会が定期点検を行っている。

(2) 事務事業の手段・指標

① 主な活動

28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)
現地確認 工事施工	なし

② 活動指標

	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア 整備延長	m			1,176	
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	林道及び林道利用者	ア 整備計画延長	m			1,176	
		イ 供用延長(累計)	m			1,176	
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。	ア 整備率(供用延長/整備計画延長)	%			100		
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
事務費 41千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
工事費 21,787千円		県支出金	千円			
計 21,828千円		地方債	千円			21,800
		その他	千円			
		一般財源	千円			28
	事業費計(A)	千円			21,828	
	人件費	正規職員従事人数	人			1
		延べ業務時間	時間			30
		人件費計(B)	千円			119
	トータルコスト(A)+(B)	千円			21,947	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
特になし。	特になし。	議会から林道、作業道の整備・舗装等を進める必要があるとの意見が出ている。

事務事業名	林道舗装事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	事業の必要がある未舗装部分のみを対象にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	平成28年度で完了した。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		補助事業もなく、起債により実施している。舗装のみが対象であるため、他の手段はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		現地を確認し、必要がある箇所のみを施工している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		設計は直営で行っており、現場管理も考慮すれば削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		雲南市が管理する林道であり、受益者負担は発生しない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
平成28年度で完了した。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		